

小鹿野町の概要

平成 17 年 10 月 1 日に秩父郡の小鹿野町と両神村が合併し、新「小鹿野町」が誕生した。埼玉県の西部、東京都心から 80 km 圏に位置し、北西部を群馬県多野郡神流町・上野村に接するほか、周囲を秩父市に囲まれている。秩父観音霊場札所 31・32 番を有するため、観光客が多く訪れており、およそ 200 年前から伝わる郷土の伝統芸能「小鹿野歌舞伎」の上演でも知られている。町の特産品として、こんにゃく、あんぼ柿が人気である。

町域は東西約 20 km、南北約 14 km、総面積 171.45 km²。そのほとんどが山林であり、秩父多摩甲斐国立公園、県立西秩父自然公園、県立両神自然公園に指定されている。平成 18 年 11 月 1 日現在の人口は 14,635 人、世帯数は 4,881 世帯で、近年は人口の減少と世帯数の微増傾向が続いている。

町内に鉄道はなく、交通は国道 299 号や県道等を利用しての、車での移動が主である。そのため、西武バスのほかに町営バスも町民の足として利用されており、小鹿野町役場を中心に、町内と秩父鉄道「秩父駅」・「三峰口駅」、西武秩父線「西武秩父駅」とを結んでいる。

商業施設は、県道小鹿野影森停車場線沿いに銀行・旅館のほか既存の日用品小売店舗が連たんしている。また、国道 299 号沿いにスーパーが進出しているほか、パチンコ店や飲食店等の沿道関連店舗が見られる。しかしながら、商圈密度は低く日用品が中心であるため、秩父市への顧客流出率は増加傾向である。工業は小鹿野町の主要産業の一つで、なかでも電気機器部門は近代化が進み、工業の主力となっている。

町は「自立した町づくり」を目指し、合併特例事業の地域イントラネット整備をはじめ、町営住宅整備、保育所改築整備、新山村新興等農林漁業特別対策等に取り組んでおり、平成 18 年 9 月に新「小鹿野保育所」が開所した。また、少子高齢化が進む中で保険・医療・福祉の「地域包括ケアシステム」の一層の充実、長年の懸案であった市街地の南北道路の整備、就業環境の整備等も進める予定である。さらに、日本百名山「両神山」や日本の滝百選「丸神の滝」等の観光資源、町営日帰り温泉館「般若の丘・クアパレスおがの」や道の駅「両神温泉薬師の湯」等の観光施設を活かして観光消費の拡大を図るため、観光の動脈となる県道の早急な道路改良が期待されている。

平成 18 年 11 月 17 日現在